みなとモデル
二酸化炭素固定認証制度

認証事例集

www.uni4m.or.jp

●問合せ先

港区環境リサイクル支援部環境課地球温暖化対策担当
電話：03-3578-2474

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事務局
電話：03-3578-2494

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C019355

発行番号：2021232-5621
令和４年３月31日発行

日本の森林の現状

日本は国土の約7割が森林で覆われている世界有数の森林大国です。そして、日本の森林の約4割は人間が植えて育ててきた人工林です。

人工林は、上の図のように、植える⇒育てる⇒収穫する⇒上手に使う、という森のサイクルを回して、健全な森林を維持していく必要があります。

ところが、日本の人工林の約半分が伐採時期を迎えているにもかかわらず、外国産材の輸入が多いことや林業の担い手不足などから国産木材の利用は低迷しています。そのため、手入れがされず荒廃が進んでいる森も多く、森林整備の促進が求められています。

木材活用と地球温暖化対策

木材を活用することは森林整備の促進のみならず、地球温暖化対策にもつながります。

木は、空気中の二酸化炭素を吸収し、光合成により成長します。吸収された二酸化炭素は炭素として樹木に固定され、木が伐られても木材として建物や家具などに利用されれば、二酸化炭素として空気中に戻ることはありません。

加えて、伐採した跡地に植林することで、また新しく二酸化炭素を吸収する森をつくることができます。

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度

港区は、2011年10月から「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を開始し、区内に建てられる建物への国産木材の使用を促し、その使用量に相当する二酸化炭素固定量を認証しています。

制度の対象となる建築物

区内で延べ床面積5,000m^{2}以上の建築を行う建築主は、
着工前に区へ「国産木材使用計画書」を提出することが必要です。

※延べ床面積5,000m^{2}未満でも、任意で提出し認証を受けることが可能です。

木材使用量の基準値

床面積1m^{2}につき0.001m^{3}以上の国産木材を使用してください。

- 基準値（★認証書を発行）：床面積1m^{2}あたり0.001m^3
- アップグレード値①（★★認証書を発行）：床面積1m^{2}あたり0.005m^3
- アップグレード値②（★★★認証書を発行）：床面積1m^{2}あたり0.010m^3

制度のイメージ図

テナント向けみなとモデル二酸化炭素固定認証制度

2013年5月からは、テナント店舗等の内外装や家具等に国産木材を使用した場合でも、木材使用量に相当する二酸化炭素固定量を認証しています。

対象者 港区内の店舗のテナント事業等　**認証基準** 上記、木材使用量の基準値と同じ

みなと森と水ネットワーク会議

79協定自治体

2022/4/1 現在

- 北海道：紋別市・森町・下川町・豊富町・津別町・滝上町
- 青森県：十和田市
- 秋田県：大館市・湯沢市・仙北市・上小阿仁村
- 岩手県：葛巻町・住田町
- 宮城県：石巻市
- 福島県：いわき市・古殿町
- 栃木県：鹿沼市・日光市
- 群馬県：沼田市
- 埼玉県：秩父市・飯能市
- 東京都：あきる野市・檜原村
- 山梨県：大月市・北杜市・身延町・丹波山村
- 長野県：飯田市・天龍村
- 静岡県：静岡市・浜松市・富士宮市・富士市・川根本町
- 岐阜県：高山市・中津川市・郡上市・東白川村
- 三重県：松阪市・尾鷲市・紀北町
- 福井県：あわら市・坂井市
- 新潟県：村上市
- 山形県：金山町・白鷹町
- 滋賀県：多賀町
- 兵庫県：宍粟市
- 鳥取県：智頭町・南部町・日南町
- 島根県：隠岐の島町
- 岡山県：津山市・真庭市・西粟倉村
- 山口県：長門市
- 福岡県：八女市
- 熊本県：湯前町
- 宮崎県：都城市・延岡市・日南市・えびの市・諸塚村
- 愛媛県：西条市・西予市・久万高原町
- 高知県：馬路村・本山町・梼原町・四万十町
- 徳島県：三好市・那賀町
- 和歌山県：新宮市
- 奈良県：宇陀市・吉野町・黒滝村・十津川村・川上村・東吉野村

協定木材

「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」では、港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した自治体から産出される、木材の合法性及び森林の持続性が約束された「協定木材」の使用を推奨しています。

uni4m チャンネル

「都市部における国産木材の活用方法」や**「協定自治体の魅力」**を伝える動画等を公開しています。

CASE 01

農林中央金庫 品川研修センター

【認証番号：26005】

地上14階建ての研修施設。
内装のみならず、バルコニー部の軒天、木製の受水槽、
木製什器等、各フロアに木材をふんだんに使用しています。
針葉樹を主に使用しながら和風のイメージに
ならないようデザインに工夫を凝らしています。

◆施主：農林中央金庫
◆設計：株式会社山下設計
◆施工：清水建設株式会社
◆所在地：港南二丁目10番13号
◆用途：研修施設
◆延床面積：10,387.96m^2
◆木材使用量：45.91m^3
◆CO2固定量：28.37t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（青森県十和田市、群馬県沼田市、静岡県川根本町）、ヒノキ（愛媛県西予市、高知県四万十町、宮崎県日南市）、カラマツ（岩手県葛巻町、長野県小諸市） 等

1 バルコニー軒天にスギ材を使用　2 施設内の各種什器にはヒノキ材を使用
3 食堂のテーブルにはヒノキ材を使用し、スギ材のルーバーを天井に設置　4 スギ材を使用した木製受水槽

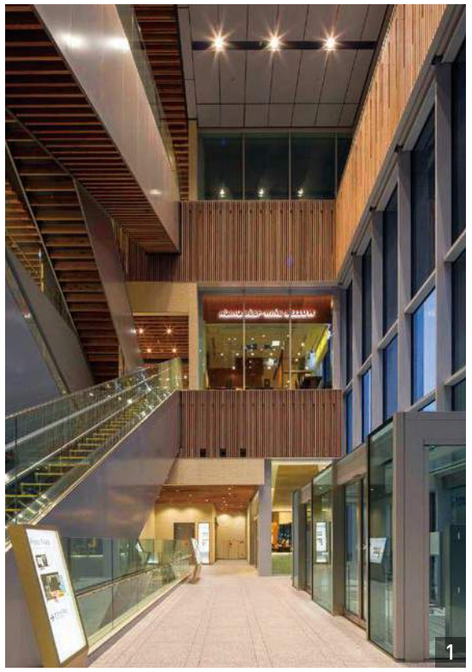
CASE 02

西新橋スクエア

【認証番号：26022】

地上22階、地下3階建てのオフィス・商業複合ビル。
江戸時代には大名屋敷と町人街の結節点であったことから、
江戸情緒を表現したデザインとしています。
江戸の町家をイメージした木格子やルーバーには不燃処理した
スギ材を用い、エントランスや共用通路に多く配置することで、
来訪者を温かく迎えています。

◆施主：西新橋デベロップメント特定目的会社
◆設計：株式会社三菱地所設計
◆施工：鹿島建設株式会社
◆所在地：西新橋一丁目3番1号
◆用途：事務所、店舗
◆延床面積：55,372.73m^2
◆木材使用量：57.36m^3
◆CO2固定量：33.80t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（静岡県静岡市、静岡県浜松市、岐阜県東白川村）、カラマツ（長野県信濃町）



1 店舗部の吹抜壁面及びエスカレーター部にスギ材を使用したルーバー　2 オフィスエントランスのスギ材を使用した木格子
3 店舗部の共用部にはスギ材のベンチと天井ルーバー

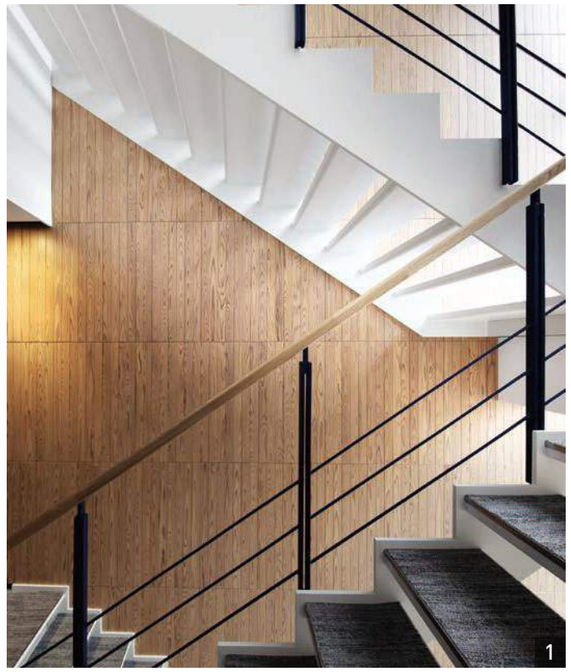
CASE 03

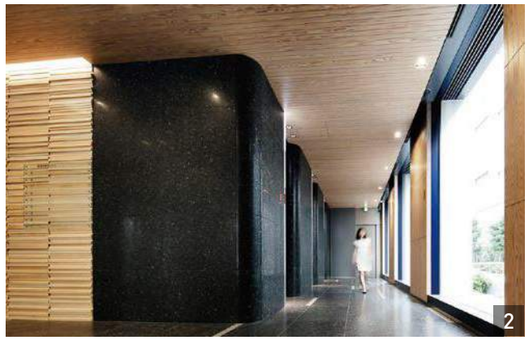
銀泉新橋第二ビル

【認証番号：28003】

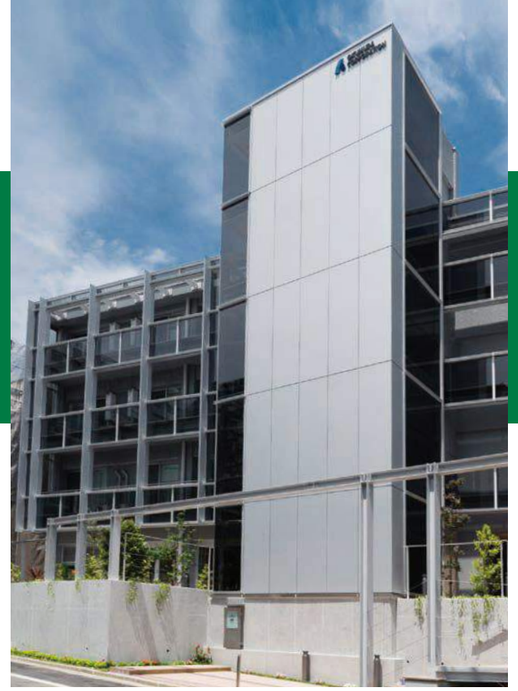
地上9階、地下1階建てのテナントオフィスビル。
一般的にテナントオフィスビルは木材を使用できる箇所が限定され
木材使用が難しい建物の一つですが、
同一のスギ材を節や寸法などの使い方で変化をつけながら、
共用部の様々な場所で積極的に木材を使用しています。

◆施主：銀泉株式会社
◆設計：株式会社日建設計
◆施工：株式会社竹中工務店
◆所在地：新橋五丁目1番9号
◆用途：事務所、店舗
◆延床面積：7,532.32m^2
◆木材使用量：9.50m^3
◆CO2固定量：5.47t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（静岡県川根本町、福岡県八女市）





1 不燃処理をしたスギ材を使用した階段室壁面　2 天井、壁面にスギ材を使用、丸みを帯びた黒い壁との対比が印象的
3 建物入口の壁・軒天には、樹脂含浸処理を施したスギ材を使用



CASE 04

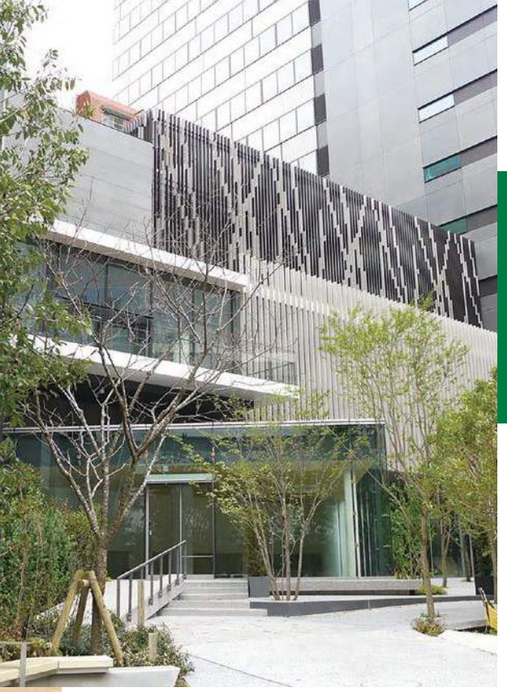
株式会社奥村組　高樹寮

【認証番号：t28001】

老朽化した職員寮のリノベーションに際して、
1階部のエントランスとリビングダイニングの内装を木質化。
シックなグレー系を基調色とする外観ではありますが、
一歩中に入ると吉野杉の間伐材を使用した温かみのある空間が
居住者を迎えてくれます。

◆施主・設計：株式会社奥村組
◆所在地：南青山六丁目13番19号
◆用途：共同住宅、寄宿舎
◆延床面積：1,407.65m^2
◆木材使用量：4.88m^3
◆CO2固定量：2.81t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（奈良県宇陀市、奈良県川上村、奈良県十津川村）

1 スギ材を使ったリビングのフローリング、天井ルーバー、家具。フローリングの一部を黒色とすることでメリハリを演出
2 スギ材を使った下足箱。意匠としてスギの磨き丸太を配置　3 スギ材を使った玄関のフローリングと壁面ルーバー



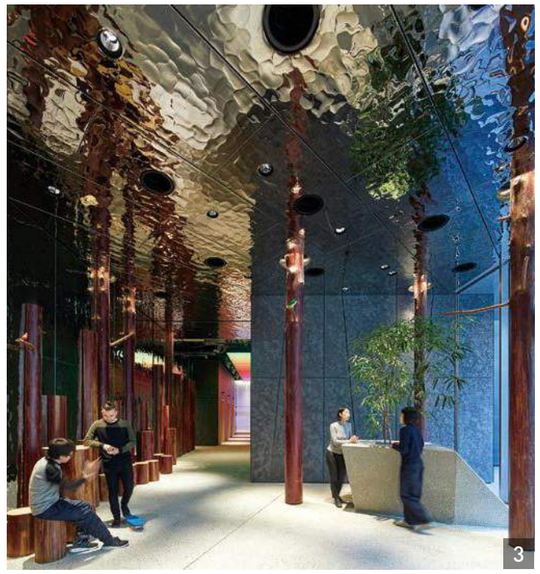
CASE 05

G-BASE田町

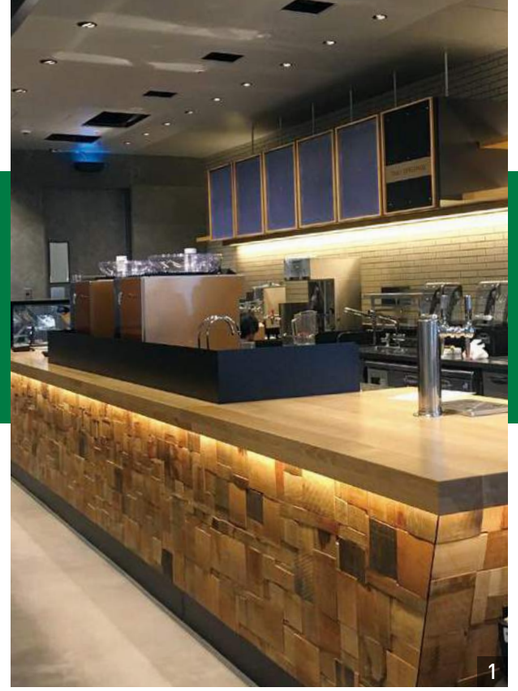
【認証番号：29018】

地上18階建てのオフィスビル。
共用部のデザインにおいて、コンクリートやステンレス板といった
無機質な素材の中に木材を使用し、
木材表面に「名栗」の手法などの伝統の業が随所にみられるなど、
意匠と機能を兼ね合わせた工夫がなされています。

◆施主：三井不動産株式会社、清水建設株式会社
◆設計・施工：清水建設株式会社
◆所在地：芝五丁目29番11号
◆用途：事務所、店舗
◆延床面積：18,242.07m^2
◆木材使用量：37.75m^3
◆CO2固定量：23.47t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ・ヒノキ・ホオノキ・他広葉樹（岐阜県東白川村）



1 EVの三方枠にスギ材を使用し、表面には「名栗」の加工
天井部には広葉樹丸太を意匠として設置
2 テーブル、ベンチにヒノキ材を使用したラウンジ
3 ヒノキの丸太をそのまま利用したエントランスホール



CASE 06

スターバックスコーヒー ムスブ田町2階店

【認証番号：t30001】

田町駅隣接の高層オフィスビルにオープンした
大手コーヒーチェーン店の店舗。
店内のカウンターや家具には広葉樹を使用し、木材の端材を活用した
カウンター立ち上がり面は立体感のあるお洒落なデザインとなっています。
また、店内には、障害を持つ港区の子どもたちと一緒に端材を使って
つくったモニュメントを展示しています。

◆施主・設計：スターバックスコーヒージャパン株式会社
◆所在地：芝浦三丁目1番21号 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 2階205
◆用途：飲食店舗
◆延床面積：162.89m^2
◆木材使用量：0.89m^3
◆CO2固定量：1.02t-CO_2
◆認証ランク：★★
◆樹種・産地：ナラ（秋田県湯沢市）

1 ナラ材を使用したカウンター天板。立ち上がり面は広葉樹の端材を
貼りあわせることで立体感を演出
2 広葉樹の端材を使ったモニュメント
3 店内のカウンター、テーブル、チェアはナラ材を使用

本件は、「港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業助成金」を活用しています。

CASE 07

BUENA VISTA TOKYO

【認証番号：t30002】

香川県小豆島、瀬戸内海のアンテナショップ
「ポンテせとうみ」の2階にオープンした、瀬戸内の新鮮な食材を
活かしたスペイン料理×日本酒が楽しめる飲食店。
徳島県三好市の木材を店内各所に使用。着色、デザイン加工した
スギ材をカウンター立ち上がり面に使用することで
スタイリッシュ空間を演出しています。

◆施主：SOAソリューションズ有限会社
◆設計：株式会社グリッドフレーム
◆所在地：浜松町二丁目6番5号浜松町エクセレントビル2階
◆用途：飲食店舗
◆延床面積：57.00m^2
◆木材使用量：0.91m^3
◆CO2固定量：0.62t-CO_2
◆認証ランク：★★★
◆樹種・産地：スギ・ヒノキ・クリ（徳島県三好市）

1 カウンターやテーブルの天板にはヒノキ材を使用　2 オープンスタイルな店舗外観。不燃処理をしたスギ材を使った天井のルーバー。カウンター立ち上がり面には、パネル化したスギ材を着色・デザイン印字して使用。窓側天井にはクリ材の丸太を配置

本件は、「港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業助成金」を活用しています。

CASE 08

文喫

【認証番号：t30003】

青山ブックセンター六本木店の跡地にオープンした、
「本と出会うための本屋」、「文化を喫する、入場料のある本屋」を
コンセプトとした新形態の飲食併設の物販店舗。
店内の喫茶室は、広葉樹を使用したフローリングと家具を配置し、
落ち着きのある上品な空間に作り上げています。

◆施主：日本出版販売株式会社
◆設計：株式会社日展
◆所在地：六本木六丁目1番20号六本木電気ビルディング1階
◆用途：飲食併設物販店舗
◆延床面積：485.39m^2
◆木材使用量：2.07m^3
◆CO2固定量：2.16t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：ナラ（岩手県葛巻町）、クリ（山形県金山町）

1 喫茶室のナラ材のフローリングとクリ材を使った各種テーブル　2 個室のデスクにはクリ材を使用

本件は、「港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業助成金」を活用しています。

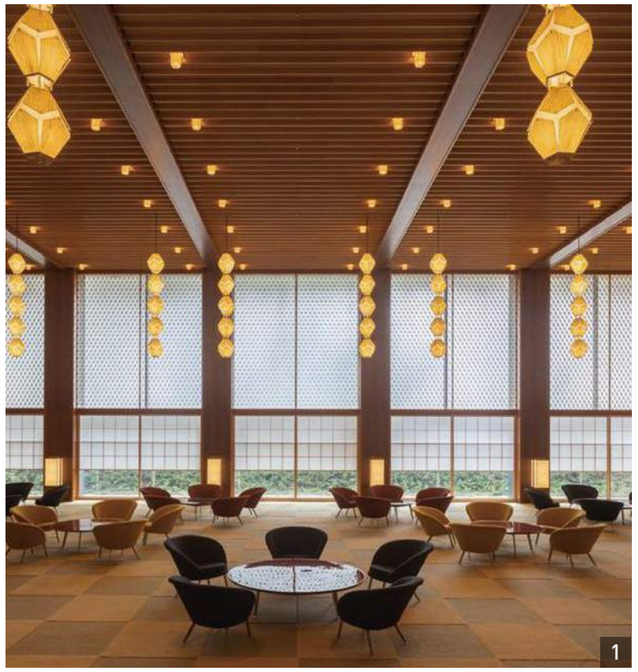
CASE 09

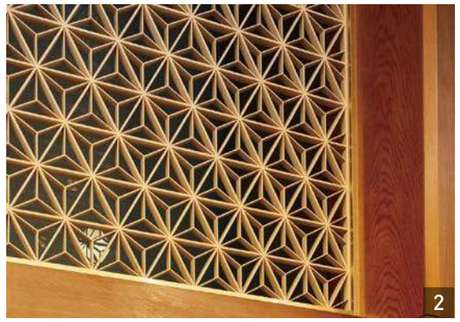
オークラ プレステージタワー／オークラ ヘリテージウイング

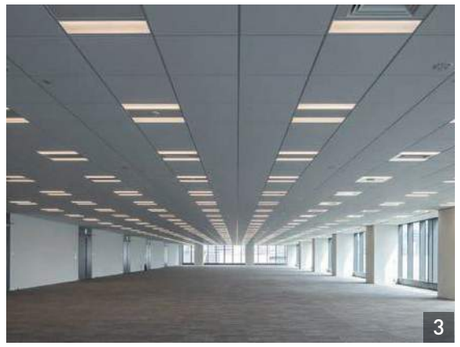
【認証番号：01002】

地上41階、地下1階及び地上17階、地下1階建ての
ホテル・オフィス等複合ビル。
プレステージタワーのロビーは、「麻の葉文様の美術組子」などを
建替前のメインロビーそのままに再製作することで精緻に復元し、
日本の伝統美を継承しています。

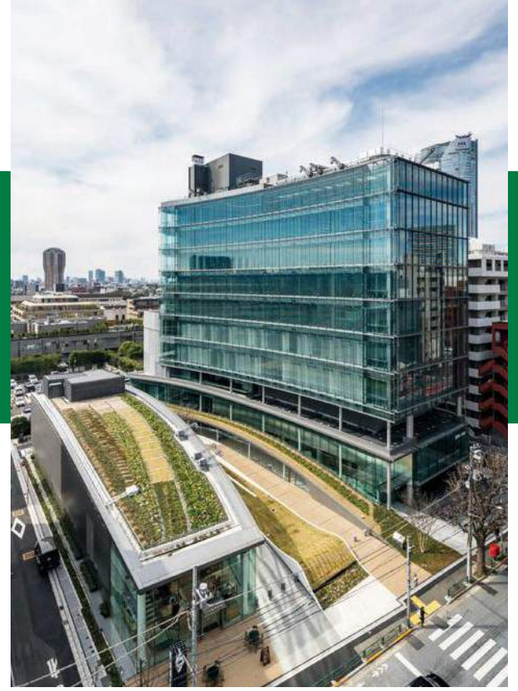
◆施主：株式会社ホテルオークラ
◆設計・施工：大成建設株式会社
◆所在地：虎ノ門二丁目10番4号、5号
◆用途：ホテル、事務所、店舗
◆延床面積：180,905.72m^2
◆木材使用量：395.01m^3
◆CO2固定量：227.51t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：ヒノキ（岡山県真庭市）等







1 プレステージタワーのロビー　2 ヒノキ材を使用した麻の葉文様の美術組子
3 オフィス部分にはＯＡフロアの基材としてスギ材を使用



CASE 10

BOATRACE六本木

【認証番号：01020】

地上10階、地下1階の事務所ビル
ボートが通過した際の波のうねりをイメージしたデッキロードや
多くの方が利用する店舗テラスに再生木デッキを使用しています。
屋上テラスでは動線になる部分に枕木を使用しています。

◆施主：一般財団法人BOATRACE振興会
会長　小髙　幹雄
◆設計：株式会社石本建築事務所、
清水建設株式会社
◆施工：清水建設株式会社
◆所在地：六本木五丁目16番7号
◆用途：事務所、テレビスタジオ、集会所、
飲食店舗
◆延床面積：13,346.67m^2
◆木材使用量：16.32m^3
◆CO2固定量：9.39t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（宮崎県都城市、
宮城県石巻市）

1 スギの再生木材を使用したデッキロード　2 3 スギの木材を使用した屋外テラス

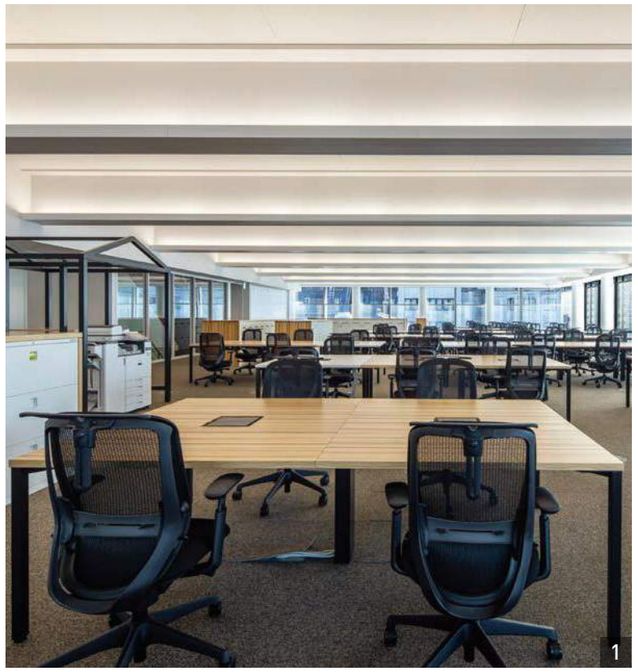
CASE 11

NOK本社ビル

【認証番号：02018】

地上８階、地下１階建ての本社機能を持つオフィスビル。
本社ビルの一体感とつながりを生み出すため、部署間、職種間などの
あらゆる境界をなくした建築計画とし、ワークプレイスのできるだけ多くの
什器に国産木材を使用することで 環境配慮への意識向上とワーカーへの
ホスピタリティを両立させる「働くことで森も守るオフィス」を目指した。
木の匂いや温もりに包まれてコミュニケーションを深め、
新しい発想で業務が行えるオフィス空間です。

◆施主：ＮＯＫ株式会社
◆設計・施工：株式会社竹中工務店
◆所在地：芝大門一丁目12番15号
◆用途：事務所
◆延床面積：6,603.34m^2
◆木材使用量：39.34m^3
◆CO2固定量：23.90t-CO_2
◆認証ランク：★★
◆樹種・産地：スギ（宮城県石巻市、栃木県鹿沼市、福井県坂井市）、ヒノキ（埼玉県飯能市、静岡県浜松市）等



1 執務エリアの机天板にスギの集成材を使用　2 壁面にはスギの無垢材をテーブル天板にはスギの集成材を使用
3 ヒノキの無垢材を使用した、木製ホワイトボードを設置

CASE 12

青山鶏

【認証番号：t02005】

新鮮な地鶏、銘柄鶏、四季折々の料理とお酒が楽しめる
南青山のレストラン。
ヒノキの無垢材をエントランスのディスプレイやテーブル天板など
視認性が高い箇所に多く使用することで、温もりを感じ、
心地よく寛げる空間となっています。

◆施主：株式会社しんわ
◆設計：有限会社ＩＮＶＩ
◆所在地：南青山二丁目14番13号B1
◆用途：飲食店舗
◆延床面積：164m^2
◆木材使用量：0.65m^3
◆CO2固定量：0.48t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：ヒノキ（埼玉県飯能市）

1 エントランスのディスプレイ台にヒノキ材を使用　2 3 客席テーブルの天板にヒノキの無垢材を使用

CASE 13

Framlings azabu

【認証番号：t02006】

麻布十番商店街にあるセット面４席の小さな美容室。
静岡県浜松市の木材がパーゴラを始め、
客席カウンターや棚板に使われています。
木材の特徴である「温もり」や「香り」を感じることのできる店内は
日常のストレスや疲れを癒してくれます。

◆施主：クロスオクト合同会社
◆設計：株式会社スパンデザイン
◆所在地：麻布十番二丁目５番２号
JMNビル2F
◆延床面積：51.90m^2

◆木材使用量：0.65m^3
◆CO2固定量：0.42t-CO_2
◆認証ランク：★★★
◆樹種・産地：スギ、ナラ（静岡県浜松市）

1 2 スギやナラの無垢材を使用した店内

CASE 14

焼鳥篠原

【認証番号：t02007】

東日本で唯一「神戸高坂鶏」を楽しめる鶏懐石の専門店。
埼玉県秩父市の御神体である、樹齢二千年の檜をカウンターや
建具に使用しています。温かく優しい光でライトアップされた演出が
「木」の魅力を最大限に引出し、素敵な空間を生み出しています。

◆施主：篠忠商事株式会社
◆設計：有限会社ＩＮＶＩ
◆所在地：西麻布一丁目４番40号
◆延床面積：51.35m^2

◆木材使用量：0.73m^3
◆CO2固定量：0.55t-CO_2
◆認証ランク：★★★
◆樹種・産地：ヒノキ（埼玉県飯能市）

1 ヒノキ材を使用した入口扉　2 カウンターにはヒノキの無垢材、天井には着色した突板を使用

CASE 15

カーサ瀬戸内

【認証番号：R2-T009】

「都会の忙しい日常を忘れて、ぬくもりと寛ぎの空間で、
瀬戸内の食材を味わっていただきたい」という思いを
コンセプトとしたイタリアンレストラン。
外装にもこだわりの木材や石の天然素材を使用し、
通行人が思わず足を止めて見てしまうような作りとしました。

◆施主：カサイホールディングス株式会社
◆設計：オクタント建設都市研究所
◆所在地：港区浜松町２丁目７番９号
◆用途：飲食店舗
◆延床面積：121.77m^2
◆木材使用量：3.39m^3
◆CO2固定量：1.95t-CO_2
◆認証ランク：★★★
◆樹種・産地：スギ（栃木県日光市）

1 中央部に位置する階段脇には不燃処理を施したスギ材の化粧柱を設置
2 壁・天井等の各所にスギ材を使用
3 化粧外装としてスギ材を使用

本件は、「港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業助成金」を活用しています。

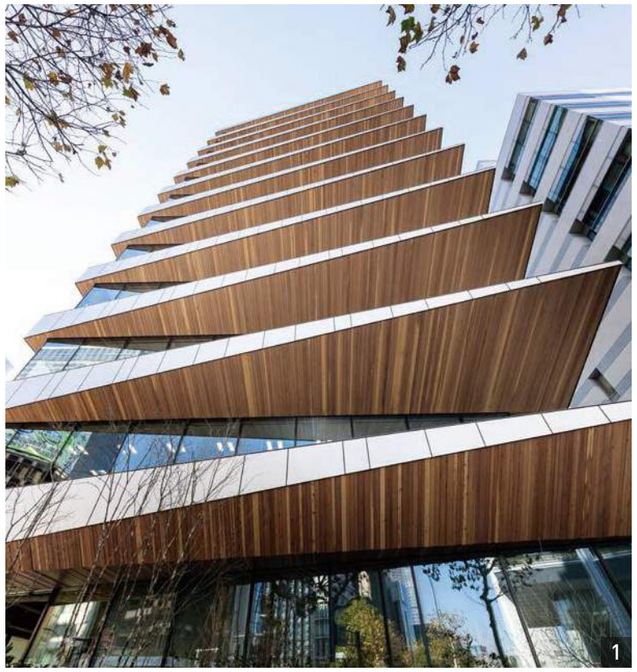
CASE 16

銀泉西新橋ビル

【認証番号：CR3-018】

地上 12階、地下１階建てのテナントオフィスビル。
庇を斜めにカットし、その軒天井に厚みと幅を変えた木材を
使用しています。
西新橋の交差点で信号待ちをする人が思わず見上げるような
印象的なオフィスビルです。

◆施主：銀泉株式会社
◆設計：株式会社日建設計
◆施工：株式会社大林組
◆所在地：港区西新橋１丁目15番４号
◆用途：事務所
◆延床面積：7,776.26m^2
◆木材使用量：20.67m^3
◆CO2固定量：11.89t-CO_2
◆認証ランク：★
◆樹種・産地：スギ（奈良県黒滝村）



1 軒天井に幅と厚みを変えたスギ材を使用
2 エントランス天井にも外部軒天井と同様のスギ材を使用
3 屋上テラスから見る軒天井

CASE 17

Kurashiba

【認証番号：R3-T003】

狸穴公園に隣接した、「ほっ。とひと息つきながら都会の中で、
ビジネスの中で、纏っている鎧を脱いでナチュラルな自分に戻れる場所」を
コンセプトにオープンしたカフェ。
公園の樹木の緑を見ながら、樹木の生命感、ぬくもりを感じられる
空間が迎えてくれます。

◆施主：個人事業主
◆設計：設計室ないとう
◆所在地：港区麻布狸穴町62番3号
◆用途：飲食店舗
◆延床面積：223.51m^2
◆木材使用量：1.53m^3
◆CO2固定量：1.52t-CO_2
◆認証ランク：★★
◆樹種・産地：サクラ・クリ・ナラ（福島県いわき市）

1～3階の壁面はサクラ材を使用　1 カウンター立ち上がり面に着色したナラ材を使用
2 3階のフローリングにはクリ材を使用

本件は、「港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業助成金」を活用しています。

ユニフォーム
uni4mショールームのご案内

uni4mショールームは、港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を結んだ自治体で構成する『みなと森と水ネットワーク会議（uni4m）』や協定自治体の紹介、協定木材を利用した各種建築建材のカタログやサンプル等を提供している常設の展示スペースです。
無料で御利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

uni4mショールームを上から見た様子

カタログ、サンプルの例

フローリング材／再生木材製品／外装材（ルーバー）／外構材（ウッドデッキ、パーゴラ）／内装化粧材／下地材（合板、システムユニット）／構造材（CLT）／家具／小物など　その他多種取り揃えております。

木について学べるコーナー

木材製品の各種パンフレットとサンプル

ショールーム所在地
港区浜松町1-13-1 港区立エコプラザ1階

●木質化アドバイザー

港区内で国産木材を活用した建物やテナント店舗等を計画されている方は、協定木材を使用した事例の紹介や協定木材製品の情報を提供する木質化アドバイザーにご相談いただけます。
利用方法にお困りの方は、uni4mホームページ（右記QRコード）のお問合せフォームより御予約ください。

www.uni4m.or.jp